

# 大隈武夫・風景描けなきや、絵描になれない…

取材・構成 堀尾一郎（二科会評議員・日本ペンクラブ会員）

九月二日、珍しく東京は雨が降った。真夏日が続いていたので、樹々の線が鮮やかに甦る。上野から常磐線の快速で松戸下車、大隈先生の出迎えを受ける。

「九五八年に多摩美を卒業しましてね、それ以来一軒家を借りて松戸に住んだんです、今までね。」

多摩美を出られてから、州の佐賀です。佐賀市

「卒業されて三年間は、どこにも勤めずに絵だけ描いてきました。」

その後は何か仕事を捜して…。  
「えー。教員をしました。中学で四年図工の教師をしました。これは大へんでした。教師としても新米だし、教える生徒の数も多かつたし、二科に出品する大作も描かなきやならないし…。」

卒業してからも、故郷に帰らず東京で画家をめざそうと…。  
「そう、画家になるためには東京へ出てきたんだから、どうしても東京で頑張ろうと…。それで絵では食えながら、中学の教師をされたんですね。学校の仕事はどうでしたか。『大へんでしたよ、自由な時間もないし、それにも貧乏だから、あんまりろくな物食べられませんでしたよ。』

「生まれ育ったのは九



アトリエに立つ大隈先生

「画家になろう、画家になりたいと思いましてね。青年の夢ですよ。画家になるには東京へ行かなきやつて…。若かったんですね、それで東京芸大を受験して、それが不合格で、一年浪人して多摩美術大学に入ったんです。」

「三十代だった。一九六四年に東京オリソピックがあつた年に、とうく血を吐いて倒されたんです。胃潰瘍でした。手術をしてね。このままでは体がもたないと、小学校の図工の専科に変えてもらつたんです。専科なら図工だけ教えればいいと。」

「九年間勤めました。安月給ですが、大作の絵具を買うのも大へんですね。子供の絵画教室を開いて稼いだり。九年間で、その小学

校もおやめになつたのはどうしてですか。『先輩にね、絵描きに歳までにプロの絵描きとしての生活を始めた言られてね…。』



アトリエには制作中の作品が

は売れなかつたん

ですか。

「東京で絵を売

るのは大へんです

よ。故郷の、早

津江と言う町は

ね、明治の元勲、

佐野常民の出た

所でね、常民は

芸術、文化が新

しい国家建設に

必要不可欠だと

説いた……」

だから佐賀は

芸術家を大切に

食つていけないわけだか

ら、まず何んでも描き

ました。風景も花も人

物も。ヨーロッパへ旅を

したり、インドへ旅を

してテーマをさぐつたり

……」

絵は売れたんですか。

「売れたと言うより、

売るんですけど、故郷の

佐賀に行つてね。知人

のお医者さんで面倒み

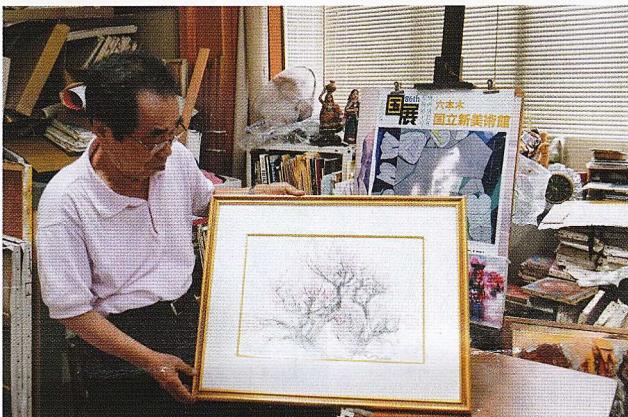
てくれる人が出来て、

その人が又知人を紹介

してくれたりして……」

故郷とは、有難いも

のですね。東京では絵



自作のスケッチを見る大隈先生



アトリエの大隈先生

の人物です。日本赤十字社を創設したのも佐野常民です。明治十年の西南戦役の時、敵味方なく負傷者を援護する機関を明治國家はも

たなければと……。彼は

パリ万博に派遣され、

フランスで赤十字の組

織を知つたそうです。」

地元の気風によつて、

大隈先生は画家として育てられたと……。

「本当にそう思います

ね。教師を辞めて、絵

で食わなきやならない。

個展をやるには会場費

で死んで描いて、必死で

売るから教員の頃より

收入がふえましたよ。」

必死で描いて、必死で

売る姿勢がプロと言

うことなんですね。

「そう私は思います。

しかし現実は風景しか

売れないものですね。

桜島を描くと、佐賀で

は売れるんです。それ

も友人、知人が買って

くれる。画商とのつき

あいは、私はないんじ

す……」

絵になるには、友人、

知人を沢山もつことで

すね。

「その通りです。しか

し、それでも、やっぱ

り風景しか卖れない。

プロの絵描きになるに

は、風景が描けないと

思ひますね……。」

や通信費やら、色々と  
金がかかる。だから故郷  
の知人がやつてゐる喫茶店で、スケッチ展を

しました。風景のスケッ

チを沢山描きましたよ。

これが売れて何んとか

食いつないできた。必死で

スケッチして、必死で

売るから教員の頃より

收入がふえましたよ。」

必死で描いて、必死で

売る姿勢がプロと言

うことなんですね。

「そう私は思います。

しかし現実は風景しか

売れないものですね。

桜島を描くと、佐賀で

は売れるんです。それ

も友人、知人が買って

くれる。画商とのつき

あいは、私はないんじ

す……」

絵になるには、友人、

知人を沢山もつことで

すね。

「その通りです。しか

し、それでも、やっぱ

り風景しか卖れない。

風景でも  
どんなもの  
が売れるので  
ですか。

「阿蘇山と  
か、桜島とか、  
活火山は売  
れる。活動

している元気  
な山が良い  
と。富士山

のような眠つ  
ている山は佐

賀ではダメ  
なんです。田

崎広助も桜

島を描いて  
ますでしょ。私のイン

ドの風景ではダメなん

です。売れない。でも

ラクダは縁起が良いと

売れたりする。」

十三年の教員生活を

すばっとやめて、絵だ

けで食つていく。必死で

描いて、必死で売る。

その意気込みが伝わつ

てきた。実に風景が描

けなきや絵描きになれ

ない。この言や良し、

大隈先生の人生の体験

から滲み出た大隈語録

その二である。



大作用のエスキース

平成二十四年十月十五日発行  
公益社団法人一科会  
東京都新宿区新宿四一三一十五  
レフラット新宿五〇号室  
電話〇三(三三五四)六六四六  
一六〇一〇〇二二